

CDMA 1X通信モジュールを内蔵した 小型モバイル・ルータ

FutureNet AS-150/X



FutureNet AS-150シリーズは携帯電話ネットワークに対応した通信モジュールを内蔵し、ワイヤレス環境でM2M(Machine to Machine)通信を実現する通信装置です。

FutureNet AS-150/XはKDDIのau携帯電話で提供するデータ通信サービスCDMA 1Xに対応した通信モジュールを内蔵し、-20℃~+60℃の環境で利用できます。外部装置との接続としてイーサネットのインタフェースを備えます。CPUに高性能で消費電力が極めて低いフリースケール・セミコンダクタ社製MPC852Tを採用しており、ファンレス化、小型化を実現しています。

● KDDI au携帯電話ネットワークに対応

◆「WM-M200A」(セイコーインスツルメンツ社製)通信モジュール内蔵

●データ配信に最適なCDMA 1X 対応

■下り最大144kbps (ベスト・エフォート) , 上り最大64kbps (ベスト・エフォート)

◆au携帯電話ネットワークの様々なサービスを利用可能

■OTA (Over The Air) 機能 (※1)

■CIPLサービス (※2)

※1 OTA : Over The Air機能

無線 (au携帯電話ネットワーク) を利用した電話番号などのIDの書込み/消去機能、回線の開通/閉塞機能。製品の利用開始/終了に合わせて、回線利用の開通/閉塞を行えるので、通信モジュール搭載製品の在庫・流通機関に不必要な通信料金が発生しません。

※2 CIPLサービス : CDMA IP Linkサービス

CIPLサービスとは、通信モジュールと企業間を接続して通信を行うためのリモートアクセスサービスです。このサービスを利用すると、センター側から通信モジュールへの通信をきっかけとして通信をおこなうことが可能になります。これにより、通信モジュールを搭載した製品の遠隔監視、運行管理等の様々な利用形態が実現できます。

● 強力なネットワーク機能

◆携帯電話ネットワーク (x1) + LAN (x1) の標準インタフェース

◆基本ルータ機能

■スタティックルーティング

■NAT/NAPT

■仮想サーバ機能

■SNTP (Simple Network Time Protocol)

■GRE (Generic Routing Encapsulation)

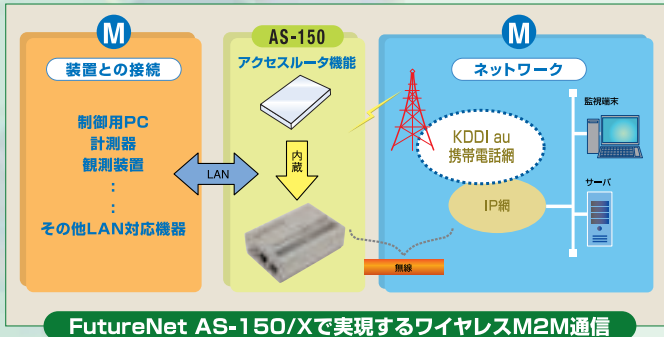
● 低消費電力、高性能、高信頼性

◆省電力CPU採用、電源回路最適化により通常3W (最大6W) の低消費電力を実現

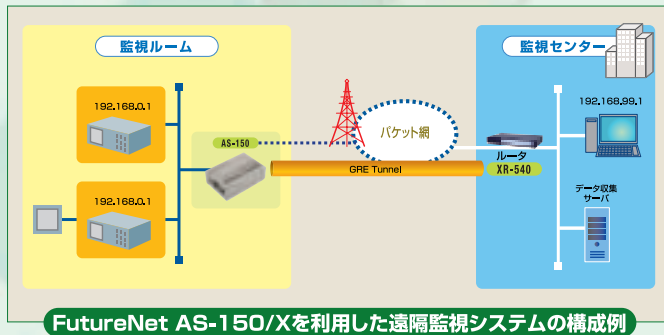
◆ファンレス動作による高信頼性を確保、24時間365日の常時稼働可能

FutureNet AS-150/Xの利用例

FutureNet AS-150/Xを使うとLAN接続された各種装置と、携帯電話網を介した遠隔地のコンピュータとの間でデータや制御情報のやりとりができます。例えばデータロガーに蓄積したデータを携帯電話網を介して遠隔地のネットワークへ送信するといった使い方ができます。



CDMA 1Xの回線契約では拠点側ネットワークにはIPアドレスが1つだけ割り当てられます。そのため拠点側に複数のLAN装置がある場合はNAT/NAPTを使うのが一般的です。しかしNAPTを使った場合、センター側では拠点側の監視機器がIPアドレスで特定できないなどの制約があり、監視には不向きな面があります。AS-150/XのGRE機能を使ってAS-150/Xとセンター側ルータ間でトンネリングすると、センター側からは複数の機器間をIPアドレスで指定して通信がおこなえます。



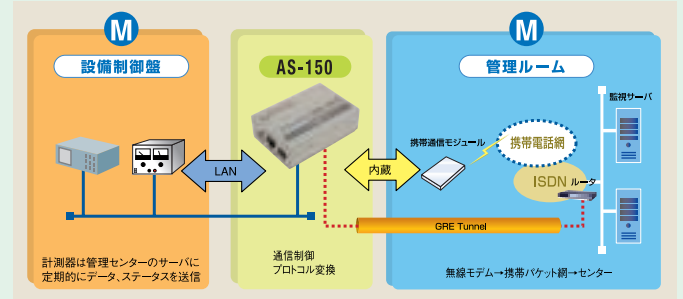
仕様

機能		FutureNet AS-150/X
CPU		Freescal MPC852T PowerQUICC™ プロセッサ 50MHz
Flash ROM		2Mbyte
RAM		8Mbyte
LAN側 インタフェース	Fast Ethernet インタフェース 動作モードの固定設定	10BASE-T/100BASE-TX x 1ポート Auto MDI/MDI-X、コネクタ RJ-45 ○
WAN側 インタフェース	対応回線	KDDI CDMA 1X (WM-M200A) 通信速度 下り 144kbps/上り 64kbps ※ ベストエフォート
ネットワーク機能	搭載プロトコル	PPP、IPCP、IP、ICMP、TCP、UDP、TELNET、HTTP、SYSLOG、ARP、BOOTP、GRE
	PPP接続 (CIPL以外)	○ ※ 端末側主導接続
CIPL接続	ルーティング	スタティックルート、デフォルトルート
	NAT/NAPT	○ ※ 送信元NAT対応
OTA機能	端末側主導接続	○
	着信 (擬似着信機能)	○
通信モジュール時刻同期	OTASP (回線契約)	○ ※ 本体OTAボタン/設定画面からの操作
	OTAPA (回線契約)	○ ※ 設定画面からの操作
運用管理	設定手段	※ 無線モジュールから時刻情報を取得し、AS-150/Xの時刻を合わせる telnet接続によるコマンドラインインタフェース
	ファームウェア更新	○ ※ 専用ソフトウェアからネットワーク経由で可能 バックアップ、リカバリ可
	構成定義情報	ping キーアライブ機能
	接続状態監視機能	システムログ、通信履歴をメモリに保存、Syslogで送信
	ログ機能	電波強度の表示、PPPリンク状態表示LED、pingによる疎通確認、 ログ情報表示、ステータス表示
認定/準拠	診断機能	SNTPサーバ Class A準拠
	VCCI	Class A準拠
サイズ・重量	外形寸法	90mm (W) x 62mm (D) x 28mm (H) 突起物を除く
	重量	本体: 約 260g、ACアダプタ: 120g
環境	使用電源、電源形状	DC5V±5% 2A ACアダプター (入力 AC 100V±10% 50~60Hz、平行2ピン)
	消費電力	最大6W
添付品	動作環境条件	-20℃~60℃ (ACアダプタを除く)、25%~85% (結露なきこと)
	保存温度	-30~60℃、25~90% (結露なきこと) CD、ACアダプタ、保証書、ゴム足

※これらの仕様は予告なく変更されることがあります。

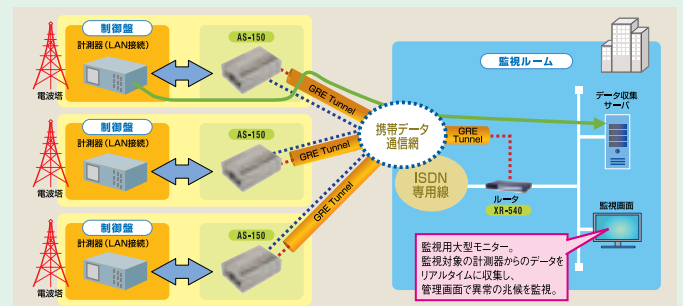
携帯データ通信モジュールによる遠隔監視

放送用設備に設置した計測器のデータを携帯電話モジュールを使って遠隔地の管理センターに送ります。AS-150/XをGRE対応することにより、ルーティング機能を持たないなど制約の多い機器でも通信サービスの制限を回避し、専用線による接続と同様の通信ができるようになりました。



携帯データ通信モジュールによる遠隔監視 (詳細)

AS-150シリーズは通信モジュールを内蔵した通信装置。通信機能を内蔵しているため、装置への組み込みがより柔軟に行えるようになりました。GRE機能を使ってAS-150/Xとセンター側ルータ間でトンネリングすることで、センター側からはIPアドレスで拠点側の複数の計測機器を識別可能となります。



FutureNet AS-150/X

● JANコード: 4540428001471 ● 価格: オープンプライス



製品のご購入・お問い合わせは
センチュリー・システムズ株式会社
 〒180-0022 東京都武蔵野市境1-15-14 央戸ビル8F
 TEL: 0422-37-8911 FAX: 0422-55-3373
 URL <http://www.centurysys.co.jp/>
 E-mail info@centurysys.co.jp